

平成26年度学校評価実施報告書(全日制)

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
1 幅広い学習ニーズに対応する多様な教育を展開する	<p>学力向上進学重点アドバンス校としての、グローバル人材育成、次世代リーダー育成という使命を果たすべく、高いレベルでの文武両道を目指した教育と、国際的な広い視野を持つ人材の育成を通して、国内はもとより世界で求められるようなリーダーを育てるための支援を行う。</p> <p>教育課程が、学習指導要領の趣旨を踏まえつつ、本校にふさわしい教育課程となっているかを分析・検証する。</p>	<p>生徒に、より高いレベルで文武両道に挑む意識を持たせることができたか。また世界で活躍するための国際的視野を持ち、高い思考力や優れた自己表現力・判断力を育成するための教育が提供できたか。</p> <p>育てたい生徒像にふさわしい教育課程として満足できるものであったか。</p>	<p>・進路講演会、土曜講座等を通じて文武両道を体現しつつ国際的に活躍する卒業生等のキャリアを紹介した。</p> <p>・5月に実施した生徒対象のアンケートにおいて、「勉強、部活動、行事、どれもがんばって両立させたい」という回答が60%を越えた。</p> <p>・思考力、判断力、表現力の育成を重視しながら授業を展開し、学校行事の企画、運営を生徒に主体的に行わせた。</p> <p>・同窓会主催の第2回海外研修旅行を希望者対象に実施した。第3回も44名が参加し事前研修を受講している。</p> <p>・高校改革を視野に入れながら、湘南高校の将来像についての検討を開始した。</p>	<p>・卒業生のキャリアに憧れを持ちながら自分のキャリア形成を行う生徒は多い。進路講演会等の講師についてより効果的な講演が行えるよう人選を同窓会と協議を重ねて行く必要がある。</p> <p>・今後も様々な機会をとらえて、レベルの高い文武両道を目指す意識付けを行わねばならない。</p> <p>・教科会等を通じて、生徒の主体的な思考を促す授業展開について、検証を続ける必要がある。</p> <p>・生徒の主体性のみが一人歩きしないよう絶えずきめ細かい指導、支援を怠らないように留意する。</p> <p>・国際的な視野を持ちながら社会におけるリーダーシップを備えた人材の育成を目指して、教育活動の工夫を重ねるとともに、教育課程の実効性についてより深く検証、研究せねばならない。</p>	<p>(保護者)</p> <p>・文武両道の、勉学、学校行事、部活動の三兎を追う校風が見事に結実したと感じている。今後の教育活動に好影響を与えるものと期待している。</p> <p>・海外の大学に関する情報量を増やすなど、グローバル人材の育成の取組みをさらに工夫してほしい。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>・授業、学校行事、部活動いずれにおいても最高の結果を出すよう指導することを通して、社会のリーダーになる人材を育成している姿勢は評価できる。</p> <p>・同窓会主催の海外研修旅行が有意義であることは評価できる。海外からの受け入れについてもできる範囲で実施して行けば効果的であると考えます。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>・学習活動、学校行事、部活動の、いわば三兎を追わせることによって、世界を舞台に社会のリーダーとして活躍する人材として必要な力の育成を図った。</p> <p>・海外研修の成果を有効に還元することができた。より効果的な実施方法について課題を洗い出し検討する必要がある。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>・教育課程の分析・検証を具体的に進めて行く。</p>

<p>2 心豊かで他者を思いやる人間性や望ましい社会性を育成する</p>	<p>学校行事、生徒会活動、部活動等を通して、心豊かで他者を思いやる人間性をはぐくむとともに、社会貢献やボランティア活動の一層の推進を図る。</p> <p>学校生活の各場面において、きめ細かな指導を行い、基本的な生活習慣を確立し、社会の一員として自律できる規範意識や公正な判断力をはぐくむ。</p> <p>生徒支援のための会議を充実させ、一人ひとりの生徒にふさわしいケアに努める。</p>	<p>生徒が学校生活に主体的かつお互いを認め合う行動がとれたか。社会貢献やボランティア活動を意識付け、具体的な行動ができたか。</p> <p>一般社会に受け入れられる態度や行動がとれるなど、生徒のマナー意識が向上したか。</p> <p>教育相談コーディネーターを機能させ、適宜ケース会議を開催し、個々の生徒を丁寧にケアできたか。スクールカウンセラーを十分に活用することができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭等の学校行事、生徒会活動、部活動等を充実させるとともに、生徒が主体的に社会福祉等に貢献する活動を行うことができた ・部活動の一環として地域や施設の催事に参加して一定の評価を得た。 ・学校敷地周辺の清掃活動、部活動における自主的な支援活動などを行った。 ・支援を必要とする生徒のためにケース会議を適切に実施した。また、スクールカウンセラーとの連携も有機的に行なった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意識をさらに向上させるため、学校全体での社会福祉、地域貢献に対する取組みについて、内容が向上するよう、引き続き、検討して行かねばならない。 ・生徒のマナー遵守の意識、利他の精神をさらに向上させるよう、様々な機会を通じて生徒に考えさせるような指導を行っていく必要がある。 ・担任、養護教諭、教育相談コーディネーター、スクールカウンセラーの連携をより緊密なものとなるよう効果的なケース会議を設定して行かねばならない。 	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動や地域の方々への貢献についての生徒の関心は高まっている。湘南高校の生徒としての自負、自覚を十分に持って取り組めるよう指導してほしい。 ・多様な生徒の個性に応じた支援が可能となるよう、教育相談の機能をさらに高めて行ってほしい。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多彩な学校行事や盛んな部活動を通して、社会性、人間性を育てている様子がよくわかる。今後もさらに取り組みを継続してほしい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の円滑な運営と実施を生徒主体で行わせることにより、利他の心や思いやり、調整能力の涵養を図った。 ・一部の部活動を通じて、社会に貢献することの喜びや意義について考えるきっかけを与えることができた。他の部活動にも広げて行く必要がある。 ・ケース会議の内容や設定方法をさらに向上させることが重要である。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりを持つこと、他者を大切にすることの重要性についてしっかりと認識させる。
--------------------------------------	--	--	---	--	--	---

<p>3 教科指導を充実し、「確かな学力」を身に付けさせる指導を行う</p>	<p>学力の定着を図るため、授業のさらなる充実、授業時間の確保、長期休業期間等の補習・講習の充実、授業時間外に自習しやすい学習環境の充実を図る。</p> <p>生徒による授業評価を活用し、授業研究会等の充実を図り、教科指導のさらなる工夫、改善を組織的に行う。</p>	<p>授業時間を確保する工夫を行い、授業時間を確保したか。長期休業期間中の補習・講習を生徒が利用しやすいように組織的に展開したか。自習室等の整備が図られたか。</p> <p>生徒による授業評価結果等を踏まえ、授業研究会の内容を充実させたか。年間指導計画等の工夫、テスト作成の工夫等、授業改善のための取り組みが進んだか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関の遅延等により日程変更をする際にも、授業時間を最大限、確保するよう努めた。 ・キャレルデスクを増やすなど、自習室の整備拡充を行った。 ・夏期休業中には昨年度設置されたエアコンを効率的に使用しながら、夏季講習を組織的に展開した。 ・生徒による授業評価を踏まえ、生徒の主体的な思考を支援する授業展開を行った。 ・県外の高校における研究授業を視察し、校内授業改善の参考とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等の効果的な実施を念頭に置きながら、授業で勝負する姿勢を貫徹するために、授業時間の確保にさらに努めて行かねばならない。 ・県費、私費の予算の中で、可能な限り、今後も学習環境、自習環境の整備に努めて行かねばならない。 ・生徒の授業評価に本校ならではの項目を新たに設定し、授業で勝負する本校にふさわしい授業改善を今後も継続して行く必要がある。 	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塾、予備校に頼らなくても学力が向上するような授業内容を維持してほしい。 ・夏期講習の講座数や内容については評価するが、学校行事の準備や部活動のスケジュールとの調整で受講困難な場合がある。改善してほしい。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で勝負する教育活動の方向性は理解できる。授業内容をより高めていけるよう組織的な授業改善の取り組みについて次年度以降も継続、深化させてほしい。 ・定期的実施している授業研究会は非常に効果的である。質の高い授業を構築しようとする教員の姿勢がよくわかる。今後ますます充実させて行ってほしい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事情等により始業を遅らせる必要が生じた場合にもまず授業時間の確保に全力を尽くした。 ・夏期休業中の講習について、教室や時間帯の調整等を、グループを中心として行い、講習を円滑に実施した。 ・生徒による授業評価の1回目を実施したが、この結果を踏まえて、授業研究会等を通して組織的な授業改善を有効に進めて行く必要がある。 <p>(改善方策等)</p> <p>本校の育成すべき生徒像に合致した授業内容を担保すべく組織的な授業改善を不断に推進して行く。</p>
--	---	--	--	--	--	--

<p>4 「魅力と活力ある学校づくり」を推進し、主体的に進路を構築する生徒を育成する</p>	<p>公立高校を牽引する役割を自認し、それにふさわしい教科指導を行い、進路実績の向上を図る。</p> <p>学校内外の人的資源を活用した進路指導、キャリア教育を推進して、生徒一人ひとりの将来の生き方について主体的に考える力と進路に対する意欲を高め、進路希望を実現する支援を行う。</p>	<p>生徒の希望する難関大学進学を実現し、進路実績向上に繋がる思考力・表現力を意識した教科指導ができたか。公立高校を牽引する役割としてふさわしい進路実績をあげたか。</p> <p>卒業生などによる進路指導、キャリア教育の機会を年間10回以上設けたか。また、生徒の進路希望実現に向け、面談をより充実させるなど、生徒・保護者との連携をさらに高めたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が真に目指すキャリア実現のために、敢えて困難な道に挑戦させる進路指導を展開した。(Always do what you are afraid to do) ・難関国立大学の東大、東工大、一橋大、京大の合格者数の合計が過去3年間、約50名となった。また、5月に実施した生徒対象のアンケートにおいて、「国公立大学への進学を目指している」という回答が70%を越えている。 ・進路説明会等を通して、きめの細かい進路指導を複数回、行った。 ・面談週間を設けて、保護者、生徒との三者面談を通じて、連携を深めつつ、より効果的な進路指導、進路支援を行った。 ・夏期休業中の校外特別講座(サマースペシャル講座)において、東大等、難関大学訪問を行い、進路実現の意識向上を図った。 ・夏期合宿中に、難関大学進学者による学習指導を実施するなど、部活動においても進路実現のモチベーションアップを図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・難関大学の進路実績の向上を図りながら、グローバルな社会的リーダー育成を目指したキャリア教育を更に効果的に展開して行く必要がある。 ・進路説明会、進路講演会の内容について今後もさらに向上させて行かねばならない。 ・生徒と保護者との連携をさらに深めて行けるよう、日々のコミュニケーションについても留意して教育活動を展開する必要がある。 	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が真に希望する進路を実現しようと努力している。今後もさらにきめ細かい進路指導を期待している。保護者が教育や進路に関する相談しやすい環境づくりを工夫してほしい。 ・今年卒業した90回生、その前の89回生の進路実績が素晴らしかった。後輩たちに良い影響が与えられるものと期待している。 <p>(学校評議員)</p> <p>ここ数年で進学実績が向上してきており、26年度末の実績はすばらしい。次年度以降も難関大学の合格率向上に向けてさらなる努力を続けてほしい。</p>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立高校の雄としての進学実績の向上を目指して、その実現に直結させることを常に意識しながら教科指導を行い、26年度末の進路実績に結びつけることができた。 ・進路講演会、土曜講座等のキャリア教育、進路指導を10回実施して、生徒のキャリア形成を進めた。 <p>(改善方策等)</p> <p>三者面談を通じて保護者との連携も進めているが、今後、さらに生徒、保護者の意図を正確に汲み取りながら、進路希望実現のための支援を行わねばならない。</p>
--	---	---	--	--	---	--

<p>5 地域との協働・連携による開かれた学校づくりを推進する</p>	<p>地域貢献活動、美化活動、環境に配慮した活動等の一層の推進を図る。</p> <p>ホームページや学校説明会等の広報活動の内容をさらに充実させ、開かれた学校づくりを一層進める。</p>	<p>年間に1回以上、地域貢献活動や環境に配慮した活動に取り組んだか。生徒が自ら校内美化に努め、学習環境を整えることができたか。</p> <p>ホームページの更新を頻繁に実施できたか。学校説明会等の広報活動を充実させ、本校への理解度を高めたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の一環としての地域や施設の催事への参加、文化祭等の学校行事の中での福祉活動を通して、地域への貢献を行うことができた。 ・地域貢献デーを通じた学校敷地周辺の清掃活動、部活動における自主的な支援活動などを行った。 ・ホームページの更新、改良を丁寧に行った。学校説明会では放送部作成のビデオ映像が好評を博し、学校案内の配付と相俟って充実した広報活動を行うことができた。PTA広報も号を追うごとに充実した内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意識をさらに向上させるため、学校全体での社会貢献の方策について、引き続き、検討して行かねばならない。 ・生徒の地域貢献への意識をさらに向上させるよう、様々な機会を通じて指導を行っていく必要がある。 ・より効果的なホームページ、学校説明会の設定について、今後も工夫、改良を継続せねばならない。 	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の野球部の雪かきには今も感謝しているという地域の方の声を聞いた。今後もこうした活動を継続してほしい。 ・湘南高校の看板を背負って地域、社会に貢献するという自覚を持たせるよう指導してほしい。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまじやり応援団やフェスティバル等で全日制、定時制の生徒が様々な形で参加し、地域貢献に取り組んでくれているが、そのことがあまり知られていない。もっと効果的な広報の方法が望まれる。 ・部活動等を通じて地域への貢献度が徐々に高まっている。そうした活動をより効果的に内外に広報し、生徒の意識も高めてほしい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献デー等での清掃活動、学校へ行こう週間における地域への教育活動公開を実施した。 ・本校最大の学校行事である体育祭において、5000名近い来校者を得て、施設や生徒の自主自立の運営の様子等を見てもらうことができ、質の高い広報活動を行うことができた。 <p>(改善方策等)</p> <p>地域に貢献する活動を今後も機会あるごとに増やし、そのことについての効果的な広報活動を工夫し、生徒の意識も高める必要がある。</p>
-------------------------------------	---	--	---	---	--	---

<p>6 安全・安心で信頼される学校づくりを推進し、事故・不祥事の防止を徹底する</p>	<p>事故・不祥事防止について不断の意識徹底を図り、事故・不祥事の根絶に努めるとともに、保護者、県民への丁寧な対応に努める。</p> <p>学校における安全・安心の確保に努め、実際の・具体的な対応を図る。生徒の安全・安心に対する意識を向上させる。防災訓練を充実させる。</p>	<p>事故不祥事防止会議を毎月開催し職員の意識の徹底を図ったか。個人情報漏洩、不適正経理等の事故を0にできたか。保護者、県民への対応にかかると意識が向上したか。</p> <p>防災・防犯の設備を整え、生徒の安全・安心に対する意識を高める指導ができたか。様々な災害状況を想定した防災訓練が実施できたか。緊急時における人員掌握および保護者への連絡体制を整えたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故・不祥事防止会議を月1回定例の職員会議後に、テーマ別に実施して職員のコンプライアンス、県民対応に係る意識の向上を図った。 ・AEDやエピペンについての講習会を職員対象に実施し、生徒の安全管理に関する意識を高めた。 ・防災マニュアルを整備し、避難訓練等を計画的に実施しながら、有事における行動についての意識の向上、連絡体制の整備に努めた。 ・藤沢市の避難施設として、定期的に避難施設訓練を実施しながら、市との防災上の連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の一人ひとりの意識に根づく事故・不祥事防止について、ゼロプログラムを効果的に展開しながら、日々、取組みを継続して行かねばならない。 ・校内、地域との連携の中で、いかに職員、生徒の防災意識をより高めて行くかについて、今後も検討を継続する必要がある。 	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災体制の一層の充実を望む。有事の際に防災マニュアルが確実に機能するかを検証してほしい。生徒の意識も高めるために防災教育の充実を推進してはどうか。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止への取り組みは今後もしっかりと続けてほしい。また、防災の取り組みはますます重要になるので、職員の意識の向上も含めて活性化してほしい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故・不祥事防止についての会議や通知を適切に実施してきた。 ・防災訓練について予定どおり、実施して、有事の際の心構えについて、生徒にしっかりと認識させることができた。 <p>(改善方策等)</p> <p>事故・不祥事の防止徹底については、今後も努力を継続しなければならない。また、防災対策についても、有事の際にどう行動するのか、その具体について、職員、生徒全体の認識をさらに深めて行かねばならない。</p>
--	--	---	--	---	---	---